2024 年度

（令和 6 年度）

事業計画書

2024 年 4 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日まで

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

2024年度事業計画策定にあたって

2023年度は、基本的な感染症対策を継続しつつ、新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、よりプログラムを楽しみながら交流の機会を増やす方向へと、徐々にシフトチェンジしながら試行錯誤を重ねた1年となりました。設立時より大切にしてきた、障害の有無に関わらず、誰もが人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」の実現に向けて、次年度に繋がる活動ができたのではないかと自負しております。

当基金設立以来、継続して取り組んでいる「ふれあいの広場事業」では、スポーツや音楽等を通じて、障害の有無に関わらず共に参加し楽しむことのできる新たなプログラムを開発し、自動車総連の全面的なご協力をいただきながら、会場や参加人数に柔軟に対応しながら、全国46会場にて開催することができました。2024年度は、コロナ以前の通常開催を目指しつつ、感染症対策にも留意しながら、安全で安心な大会となるよう努力を続けてまいります。

「ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ」では、2020年7月の豪雨にて甚大な被害のあった、熊本県人吉市周辺の障害者施設で開催することができました。
2024年度においては、2023年度の大雨による被害のあった山口県内の障害者施設での開催を目指し、言葉を超えたコミュニケーションの手法を知っていただけるよう取り組みます。

ニュースレターは6、9、12、3月に発行しています。当基金の活動内容や実施予定を記載し郵送、e-mailにてお届けをしています。また、ホームページにおいても掲載しています。

厳しい財政運営の中、賛助会員や寄付者の募集活動をこれまで以上に取り組み、ニュースレターおよびホームページの内容について検討してまいります。

多くの皆様のご理解とご支援のもと本年度の事業が展開できますよう、引き続きのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

２０２４年４月
公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

１．ふれあいの広場事業

（１）ふれあいのスポーツ広場の実施

ふれあいのスポーツ広場は、障害の有無に関わらず、軽スポーツを通じ、共に楽しみ、交流することを目的とし、当基金設立時より実施している事業です。1992 年度以降は「全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）」より物心両面にわたるご支援をいただきながら、開催しています。

2023 年度は、昨年度同様午前中のみの短時間にもかかわらず、参加者とボランティアスタッフの交流を増やすために競技を追加し、全国 46 会場で開催することができました。

2024 年度は、ふれあいのスポーツ広場の意義・目的を踏まえつつ、コロナ以前の午後までの通常開催に戻し、全都道府県での実施を目指します。

競技内容については、日本福祉大学の藤田紀昭教授を中心に、障害の種別や程度でなるべく影響の少ないプログラムとして、ユニバーサルスポーツをキーワードに実施してきた内容を踏まえつつ、コロナ禍において実施した競技運営の知見も加味しながら、安心・安全に、またより楽しんでいただく運営に努めます。

コロナ以前の活気あふれるイベントとなるように、多くの関係者、ボランティアの皆様のご支援をいただきながら、全力で推進してまいります。

実施時期　2024 年 4 月～ 2025 年 3 月
開催地域　全都道府県を予定
開 催 数　全国４７会場（予定）
共　　催　全日本自動車産業労働組合総連合会
後　　援　内閣府、スポーツ庁、開催都市、開催都市教育委員会等
協力団体　日本福祉大学
　　仙台ユニバーサルスポーツ研究会
　　（公社）日本エアロビック連盟
プログラム内容
日本福祉大学の藤田紀昭教授の監修の元、障害の有無に関わらず、誰もが共に参加し楽しむことのできる競技を中心に実施します。

競技内容（例）

☆ロープ送り

・２列縦隊で座った列の先頭から、最後尾に向かってロープを送っていき､最後尾でUターンして最前列へロープを送る。ロープの最後が最前列の参加者に到達したら、ばちと交換して太鼓等を打つ。早く打ったチームが勝ち。

☆風船バレー

・２チームに分かれ人の列で区切りを作る「人間ネット」を中心線とする。各チーム３０～５０個の風船を持ちスタート。自陣から風船の個数を減らした方のチームが勝ち。

☆ホールインワン

・音楽の合図が鳴ったら、パラシュートを上下にリズムに合わせて動かす。指導者の合図でパラシュートを右に回し、その後ボールを入れる。全員で協力してパラシュートの中央の穴にボールを落とす。ボールを穴に落とした後、早く座ったチームが勝ち。

☆じゃんけんダンス

・インストラクター及び実行委員の進行で、ふりつけダンスとじゃんけんダンスを行う。じゃんけんダンスは、＜わきプレス４回＞→＜拍手４回＞→＜膝たたき４回＞→＜じゃんけんポン＞の順番で行なう。

☆スローエアロビック

・スローエアロビックは、シンプルで自然な動きを取り入れながら、カロリー消費ではなく、気分を好転させることを重視しています。音楽に合わせて楽しく体を動かすというエアロビックの本質的な魅力を、運動強度が低い運動へと裾野を広げようという考え方に基づいています。

※出典：(公社) 日本エアロビック連盟 web ページ

（２）ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップの実施

障害の有無に関わらずお互いが尊重しあえるように、ノンバーバル（非言語）という方法でコミュニケーションについて学ぶ場づくりをいたします。

2024 年度には、2023 年 6 月 29 日からの豪雨被害のあった山口県内の障害者施設での実施を計画いたします。

実施時期：2025 年 2 月
対 象 者：障害のある方、教職員、ボランティア等
ファシリテーター：庄﨑　隆志氏（office 風の器主宰・俳優・演出家）
メイミ氏（漫談家・特定非営利活動法人笑顔工房 理事長）

２．開発、普及及び育成事業

（１）各事業報告書の発行

当基金が事業展開をしている中で、障害の有無に関わらず共に楽しむことのできる手法や考え方を、多くの方に知っていただき、様々な活動の中で取り組んでいただけるように、下記の報告書を発行致します。

刊行時期：2025 年 3 月
発行部数：当基金ホームページにおいても掲示。無償配布。
発行報告書：ふれあいのスポーツ広場／ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ

（２）ニュースレターの発行

当基金が設立以来事業活動の基盤として周知に努めている、障害の有無に関わらず共に楽しみ共に取り組みながら相互理解を深めていく「ふれあいの広場」事業に関して、その理念や活動内容、そしてプログラムの手法やイベント情報を中心に掲載した機関誌「ないすはあと」を年 4 回発行します。

発行月：６月、９月、１２月、３月
発行数：当基金ホームページにおいても掲示。無償配布。
内　容：ふれあいの広場事業に関わるプログラム内容、手法、実施の状況等